

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
リスクマネジメント特論		Z 166	1 単位	3 学期
Applied risk management				
科目分野		課程領域		
		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
伊藤 俊幸	-	メールアポイントメントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

リスクマネジメント要論	
-------------	--

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

リスクマネジメント要論では、リスクマネジメントの必要性と基本を学ぶことで、受講者自身の「リスクマネジメント基礎力の向上」を目指した。本講では、努力次第で発生頻度が低減可能な「組織内部のリスク」と、要因の発生自体を防止・低減できない「組織外部のリスク」について、具体的なケースをとりあげ、その影響と対応すべき視点を学ぶ。特に、今マスコミなどで注目されている「ESG投資(SDGs)」「地政学的リスク」「経済安全保障」についてもとりあげる。

到達(修得)目標

講義やケーススタディを通じて、リスクマネジメントに関する受講者自身の知識及び対応力の向上を目指す。

受講対象者

イノベーションマネジメント専攻の全受講生

履修上の注意事項やアドバイス

★出席は極めて重要

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力	○	X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力	○	X9: ライフサイクル	○

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	グループ討論	ケーススタディ	当日配布
3			
4			
5			
6			
7			
8			

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	クラス貢献ではクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。ディスカッションや討議での的確な発言内容を評価する。毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献／討議・ディスカッション	40%	
レポートの提出	50%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	必要な資料を配布する。	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)		
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	組織内部のリスク(1) コンプライアンスリスク		伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ		
3.4	組織内部のリスク(2) オペレーショナルリスク		伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ		
5.6	組織外部のリスク(1) ESG投資 (SDGs)		伊藤	180分
	イベント	部外講師の講演		
7.8	組織外部のリスク(2) 地政学的リスク 経済安全保障		伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ		

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名： 伊藤俊幸